

特別協賛



協賛



協力



参加無料
オンライン開催
詳細やお申込みは
中面をご確認ください

アジアがんフォーラムとは



国際対がん連合 (UICC) 加盟組織として、アジアにおけるがん医療におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を実現するために、政策提言活動を東京大学を基盤として学際的に活動を続けています。JICA草の根支援プログラムにて、中国黒竜江省がん教育プログラム開発を行った知見をもとに、富山県においてUICC理念を軸として、リラの木のいえを、がん啓発拠点として開放し、がん情報の地域格差是正に努めています。

この活動を基盤に、Astellas' Access to Health Initiativeを保健医療アクセス向上に取り組む団体としてマレーシア対がん協会とともに採択。2022年8月11日に、このBEAUTY & Health プログラムのイベントがマレーシアで開かれ、プログラムが始動しました。また、トヨタ財団の国際助成プログラム「日本と中国の地域コミュニティにおける誰ひとり取り残さないがんと暮らしを問い直す学びあいの構想と実践」の採択も受けており、高齢化社会を迎えるアジア地域のがんのUHCに着目して活動をしてきた知見を活かして、誰にでも起きうる病気として、がんという病いを地域コミュニティで支え合う、持続可能な社会の実現を目指すための活動を行っています。



地域でがんを生き延びる

超高齢化・人口急減のなかで、医療制度改革・ICT化が進む大変革期。
「地域でがんを生き延びる」ことをテーマに、がんに関する医療・社会課題の解決を目指して、世界・国・地域の様々な立場の方々が多数登壇し、4つのセッションを実施いたします。

2022.11.13 (日) 10:00~17:05

〇配信会場：富山県砺波市庄川町「リラの木のいえ」

日本の
原風景から
世界に配信

- 主催：一般社団法人アジアがんフォーラム(UICC日本委員会メンバー)
- 後援：UICC-ARO、UICC日本委員会、富山県、砺波市、南砺市、外務省、厚生労働省、経済産業省(予定)、公益財団法人富山県医師会
- 特別協賛：MSD株式会社
- 協賛：株式会社アルム、ヤンセンファーマ株式会社
- 協力：公益財団法人トヨタ財団、松村謙三顕彰会、東となみロータリークラブ、南砺ロータリークラブ、庄川峡観光協同組合、一般社団法人南砺市観光協会、庄川町商工会、日の出屋製菓産業株式会社、三楽園グループ

問合せ先：LOCAL CANCER DAY 2022 TOYAMA事務局

◎参加申込に関する問合せ：株式会社PCO/富山県富山市小杉120 担当：千田、飯野 TEL:076-429-5708 Email:info@pcojapan.jp
◎報道に関する問合せ：株式会社朝日エール/東京都中央区築地2-12-10 担当：中村、塩田 TEL:03-5565-4919 Email:wcd0204@ellesnet.co.jp



午前の部

アジアでがんを生き延びる

10:00~12:00

〈セッション:1〉がん国際連携がもたらす未来とは

アジアがんフォーラムは2004年から、アジアでのがん医療の取り組みにおける官民パートナーシップ等を学び合い、政策提言、国際交流などの活動を行ってきました。18年目の今年、過去の歩みを振り返り、現在地を確認し、未来に向けて長期思考で考え、世代間の公平性に資することを、国内外の有識者と共に語り合い、参加者と分かち合います。

河原 ノリエ 氏 アジアがんフォーラム 代表理事、東京大学東洋 文化研究所特任准教授	Jeff Dunn 氏 UICC会長	田島 和雄 氏 UICC日本委員会名誉会 員、三重大学客員教授	梶村 春彦 氏 公益財団法人佐々木研 究所所長、 浜松医科大学教授	野崎 慎仁郎 氏 WHO西太平洋地域事務 局コンプライアンス・リス クマネジメントオフィサー	李大寅 氏 株式会社New Tech 代表取締役社長	詹雪莱 氏 覚悟草堂・会長
山野 愛子 ジェーン 氏 山野美容専門学校校長	宇野 晶子 氏 株式会社資生堂常勤監 査役、北陸電力株式会 社外取締役	ディナ・ミルアド 氏 ヨルダン王女 元UICC会長	サウンドリー サマズダラム 氏 マレーシア対がん協会 会長	園田 茂人 氏 東京大学東洋文化 研究所教授	岩崎 甫 氏 国立大学法人山梨大学 副学長・AMEDプログラ ムディレクター	野田 哲生 氏 UICC日本委員会委員 長・がん研究会がん研 究所所長

13:00~14:00

〈セッション:2〉地域社会とがん、地域のがんは誰が支えるのか

富山県内ではワールドキャンサーデーの活動を通して職域や地域コミュニティとの学び合いを重ね、地域の持続性を高めるには中小企業の経営者・従業員のがん対策が重要であることを確認してきました。このセッションでは課題を共有し、地域、企業、日本の成長に資する仕組みづくりを、がん医療の専門家、経営者、経済産業省ヘルスケア担当官と共に語り合います。

野田 哲生 氏 UICC日本委員会委員 長・がん研究会がん研 究所所長	岩崎 甫 氏 山梨大学副学長、AMED プログラムディレクター、 アジアがんフォーラム理事	中釜 斉 氏 国立がん研究センター 理事長	加瀬 明彦 氏 税理士法人加瀬会計事 務所 税理士	川合 声一 氏 日の出製薬産業株式 会社代表取締役会長	品川 祐一郎 氏 トヨタモビリティ富山株 式会社代表取締役社長、 富山商工会議所副会長	山崎 牧子 氏 経済産業省ヘルスケア産 業課課長補佐

午後の部

地域でがんを生き延びる

午後の部

地域でがんを生き延びる

14:05~14:45

〈セッション:3〉がんを生き延びるためには、どんな地域が望ましいのか

富山にある日本の原風景「散居村」。この美しい地域で、アジアがんフォーラムは人々の営みと眼差しに寄り添い、目指すべき未来を共に考えてきました。エビデンス・ベースドではなく、コミュニティ・ベースで考える先にある、人間にとっての本当に大切なことは何なのか。地域でがんを生き延びるために、この地で暮らす人々と語り合い、学び合います。

田島 和雄 氏 UICC日本委員会名誉会 員、三重大学客員教授	坂井 彦就 氏 三楽園グループ代表取 締役社長、庄川峡観光協 会同組合理事長	沖田 孝夫 氏 砺波庄川まちづくり 協議会常任委員	宮窪 大作 氏 宮窪建設株式会社代表、 砺波市庄川町東山見地 区自治振興会会長	安田 陽子 氏 上平小学校教頭	水林 慶子 氏 リラの木のいえメンバー、 光教寺住職代務者	垣添 忠生 氏 日本対がん協会会長、 国立がん研究センター 名誉総長

15:30~17:05

〈セッション:4〉がん医療を届けるためのアクセス改善の方策とは

少子高齢化が進む日本。誰一人取り残さない社会の実現のために、超高齢化・人口急減のなかで、医療制度改革・ICT化が進む大変革期に様々な変革が求められています。テクノロジーの進化により、その未来は大きく広がっていますが、良き祖先となるために、何を学び合い・同期していくことが私たちには求められているのか。テクノロジー、グローバル、地域経営の視点から学び合います。

野田 哲生 氏 UICC日本委員会委員 長・がん研究会がん研 究所所長	河原 ノリエ 氏 アジアがんフォーラム 代表理事、東京大学東洋 文化研究所特任准教授	鷺見 学 氏 厚生労働省医政局地域 医療計画課課長	坂野 哲平 氏 株式会社アルム代表取締 役社長、アジアがんフォー ラム理事	牧田 和樹 氏 株式会社牧田組代表取 締役社長、富山経済同友 会代表幹事	森 雅志 氏 前富山市長・日本政策投 資銀行特任顧問	大割 慶一 氏 KPMGヘルスケアジャパ ン株式会社代表取締役、 アジアがんフォーラム理事

▶シンポジウム申込方法

- 1 WEB 右記のQRコードからアクセスしてください。
- 2 申込フォームで登録 内容を確認のうえ、必要事項をご登録ください。
- 3 登録完了 申込詳細メールをご確認ください。
- 4 ご視聴 イベント視聴ページの「イベントに参加」ボタンからご視聴ください。



すべてのセッションの参加URLは共通です。また、開催時間内の出入りも自由です。